

【青山学院スクール・モットー】

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

SIPEC

School of International Politics, Economics and Communication

Globalization begins within

グローバルゼーションはあなたの心の内から

2021



青山学院大学
国際政治経済学部

2020年7月発行



青山学院大学 国際政治経済学部

世界の課題を解決するために「深める」「高める」

専門性 × 国際性

青山学院大学国際政治経済学部が他の多くの国際教養系の学部・学科と一線を画すのは、

専門性の重視ということです。

国際政治学、国際経済学、国際コミュニケーション学の学術的なアプローチ(思考と手法)を獲得することが、

国際社会を理解するための第一歩だからです。

同時に、単なる外国語習得を超えて、国際社会で多様な人々と協働し価値を創造するための、

行動力を伴うコミュニケーションの力を養います。

深い専門性に裏付けられた課題発見・解決能力、そして行動力を伴った高いコミュニケーション力、

これこそが国際政治経済学部の「グローバル」です。

Globalization begins within

IT技術の発達や人工知能の発展は私たちの日常生活を益々便利なものにし、ネットワーク上で世界の誰とでも意見交換することを可能にしました。しかし、世界のあらゆるところで紛争は繰り返され、想定外の災害も頻発し、より不確実な世の中になってきています。

グローバリゼーションは心の内から始まります。今こそ、国、言語、民族、習慣、ジェンダーによる違いを越えた共生・協働が私たちに求められています。学生一人一人が他者を尊重し、多様性から新しい価値を創造し、真のグローバルリーダーとして社会にはばたいていけるよう私たち国際政治経済学部は共に歩んで参ります。

国際政治経済学部長
末田 清子
SUEDA, Kiyoko



教育の特色1 | 深い専門性

専門知を磨き、統合知を獲得する

グローバルな課題を解決するのに必要な国際政治、国際経済、国際コミュニケーションの知識や専門的な洞察力。さらに、これらを統合的に理解し、国際社会を見通す力。本学部では、3学科5コース制で学問的な専門性を磨きつつ、専門の垣根を越えて多角的に物事を捉える力を養います。

「知」を集め活用する力を培う

少人数ゼミをはじめ、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベート、グループワークといった学びのスタイルを多くの授業で取り入れています。それは自ら問いを発し、その問いを仲間と共有しながら学問的に解決していくプロセスを重視しているからです。

3学科5コース

▶ P.03-04

1から4年次へと続く少人数ゼミ

▶ P.05-06

教育の特色2 | 高い国際性

英語で考え、協働する力を身につける

「国際」に特化した学問領域や国際理解科目に加え、国際問題や時事問題をベースとした外国語プログラム、80を超える専門科目の英語講義や豊富な留学・海外研修などを通して、ユニバーサルなコミュニケーション能力を高めます。

実践的に学ぶ 外国語教育

▶ P.07-08

海外で学ぶ 豊富なプログラム

▶ P.09-10

国際政治経済学部は、以下の資質をもった学生をお待ちしております。

- 国際社会の動向およびあり方についての知識と関心を有している。
- 自らの力で主体的に思考し、判断し、表現できる。
- 学びを通じて他者と積極的に協力・協働し行動する意欲を有している。

国際政治経済学部 3学科のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）については以下をご確認ください。

www.aoyama.ac.jp/faculty/sipec/

※2020年7月時点での情報です。
内容は変更となる場合がございます。



専門知を磨き、 統合知を獲得する

3 学科 5 コース

世界の課題を解決する知を得る

政治・経済・コミュニケーションを学ぶ

- 国際政治経済学部生として求められる、国際問題を考える基礎と幅広い視野を身につける

専門性を深めるコース選択

- 希望に合ったコースを選択し、各分野の専門性を深める ……2年次

自由に学べる、ゼミを選ぶ

- 基礎と専門性を課題解決力に変えるゼミ。所属する学科にとらわれず自由に選ぶ ……3年次
- 学ぶ意欲に応じて、学科・コースの枠を超えた科目を履修する

国際政治学科

国際社会の多様な現実を知り、問題解決力を身につけ、自らの考えを発信する



政治外交・安全保障コース

- 主要国家や地域の視点から国際政治を分析
- 国際政治問題の分析と解決提言を行う

グローバル・ガバナンスコース

- 全地球的視野から新たなガバナンスのあり方を検討
- 地球規模の課題を分析し、問題解決を模索

学科科目例

政治学原論Ⅰ・Ⅱ／国際政治学Ⅰ・Ⅱ／国際政治経済学Ⅰ・Ⅱ／国際法ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB／国際関係史Ⅰ・Ⅱ／国際機構論Ⅰ・Ⅱ／政治学方法論Ⅰ・Ⅱ／グローバル・ガバナンス概論Ⅰ・Ⅱ／外交史Ⅰ・Ⅱ／比較政治論Ⅰ・Ⅱ／政治思想史／政治過程論Ⅰ・Ⅱ／日本政治論Ⅰ・Ⅱ／日本外交論Ⅰ・Ⅱ／日本の外交／日本の防衛／国際政治理論Ⅰ・Ⅱ／国際正義論／国際安全保障論Ⅰ・Ⅱ／国際制度論Ⅰ・Ⅱ／国際行政論Ⅰ・Ⅱ／国際平和協力論Ⅰ・Ⅱ／国際NGO論Ⅰ・Ⅱ／国際環境論Ⅰ・Ⅱ／国連研究／アジア圏概論／環太平洋圏概論／米州圏概論／中東圏概論／ヨーロッパ圏概論／アフリカ圏概論／朝鮮半島の政治論／中国政治論Ⅰ・Ⅱ／アジア太平洋政治論Ⅰ・Ⅱ／アメリカ政治論／ヨーロッパ政治論Ⅰ・Ⅱ／ロシア・中央アジア政治論 など

演習論文テーマ例

- Japan's Response to North Korea's Challenge: How to Deal with the Nuclear and Missile Threats while Giving Consideration to the Abduction Issue
- 湾岸諸国における移住家事労働者—UAEの官民連携施設システムの有効性と限界—
- BREXITが北アイルランドの平和に与える影響
- 政治とメディアはどのような関係を築いていくのが望ましいのか—米大統領の戦略を通して考える—

Vision of the Future

国際機関や公的機関、国際的な企業に就職するなど、
広く国際社会に関わりたい

国際経済学科

世界経済・経営が直面する新たな潮流をつかみ、
確かな分析力を身につける



国際経済政策コース

- 国、産業レベルでの国際的経済問題を分析
- 経済理論に基づいた政策提言を行う

国際ビジネスコース

- 国際ビジネスや経済活動に対する視点を身につける
- 企業行動や企業マネジメントなどを実践的に分析する

学科科目例

経済学入門(ミクロ)・(マクロ)／国際ビジネス入門／経済学入門Ⅰ・Ⅱ／社会科学のための数学入門Ⅰ・Ⅱ／情報と組織の経済学／ビジネス・マネジメントⅠ・Ⅱ／グローバル経済Ⅰ・Ⅱ／国際貿易Ⅰ・Ⅱ／ゲーム理論Ⅰ・Ⅱ／国際産業国際金融Ⅰ・Ⅱ／計量経済学Ⅰ・Ⅱ／ビジネス・エコノミクス／多国籍企業論Ⅰ・Ⅱ／国際労働経済学Ⅰ・Ⅱ／管理会計とファイナンスⅠ・Ⅱ／国際環境経済学Ⅰ・Ⅱ／日本経済Ⅰ・Ⅱ／地域研究(EU経済)／地域研究(アメリカ経済)

演習論文テーマ例

- The economic impact of temperature fluctuation in Japan
- なぜNFL(National Football League)の収益は世界最大なのか
- サブサハラアフリカ地域における地下水資源の持続可能性
- アパレル業界の課題と展望について—回帰分析によるアパレル業界・企業の要因分析—

Vision of the Future

国際金融や発展途上国の経済開発に携わったり、
企業に就職して国際ビジネスの舞台で活躍したい

国際コミュニケーション学科

異文化を理解し、人と人、人と社会、社会と社会をつなぐ
コミュニケーションを理解する



国際コミュニケーションコース

- 「言語」、「地域文化・比較文化」、「コミュニケーション」の3つの視点からグローバル社会の課題を考察する

学科科目例

国際コミュニケーション総論Ⅰ・Ⅱ／コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ／国際ビジネス・コミュニケーションⅠ・Ⅱ／パブリック・リレーションズ／インターカルチュラル・トレーニング／広告コミュニケーション論／現代社会とジャーナリズム／コミュニケーション研究法の全体像／コンピュータによる調査データの解析／アンケート・社会調査の方法／言語科学概論Ⅰ・Ⅱ／社会言語学入門／言語の仕組み／多言語社会とコミュニケーション／実践・通訳コミュニケーションⅠ・Ⅱ／翻訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ／Culture and Society / Intercultural LiteracyⅠ・Ⅱ／宗教文化論Ⅰ・Ⅱ／文化研究概論Ⅰ・Ⅱ／ヨーロッパ文化論Ⅰ・Ⅱ／スペイン文化論／ロシア東欧文化論／中国文化論 など

演習論文テーマ例

- Copies and their Pronunciations in Wh-questions in Koromfe
- The Study of Gender Difference in Stress Levels: The Effectiveness of Self-disclosure
- 絵画が映し出す人間像—グスタフ・クリムトの精神世界へ—
- 外国人留学生の来日目的と労働状況の実態—ベトナム留学生を対象にした研究から—
- 大学国際寮に住む日本人学生の留学生との対人関係構築

Vision of the Future

マスコミ、商社、サービス業、金融業はもちろん、
海外協力事業団、国際交流事業、通訳・翻訳業界に挑戦したい

詳しくは大学Webサイト(www.aoyama.ac.jp/faculty/sipec/curriculum/)をご覧ください。



「知」を集め 活用する力を培う

単に知識を得るだけでなく、自ら課題を発見し、仲間と共有しながら学問的に解決していく
能動的な学びを重要視しています。その軸が、1年次の入門セミナーから3・4年次の演習へと続くゼミ。
3・4年次の演習は平均6名と少人数です。

1から4年次へと続く少人数ゼミ



ゼミ合宿(トヨタ産業技術記念館を見学)



鶴田ゼミのメンバー。
ディスカッションしたり、お互いを高め合う存在。

1年次

入門セミナー

専門分野への導入と
学習の方法やスキルの獲得

本学部で学ぶ専門分野について、様々な角度から触れる
ことによって、その概要を把握します。
また、資料文献の読み方、レポートの書き方、プレゼン
テーションやディスカッションの方法など、大学生とし
て必要なスキルを演習形式の能動的な学習によって身
につけます。

小楠さんの
4年間



入門セミナー

あらゆる題材の中から、課題を発見し、整理して考え抜
く力をつけるセミナーです。
隔週で講義を聴き、グループディスカッションで問題
点を明らかに。翌週のセミナーでプレゼンテーション
を行います。自分たちでゼロから作り上げる授業とい
えます。

OGUSU'S Voice

たくさんの分野を知ること
自分にあった専門分野を発見

経済学には、ミクロ、マクロ、計量、行動経済学など、
様々な分野があることを知り、自分の興味関心に沿っ
た専門分野を見つけることができました。また、レポー
ト作成時には、図書館で必要な情報を集めるなど、自発
的な行動が大切であることも実感しました。



2年次

プリゼミ

専門知識の修得
論理的思考力・表現力の獲得

専門的な学びへの導入期間。少人数制のクラスで、1年次
に関心をもった分野の教員と密に接しながら、専門知識
を築きます。研究・プレゼンテーション・ディスカッショ
ンなどを通して論理的思考力・表現力を培い、専門的な
研究へつなげていきます。

プリゼミ

国際経済学科
教授 友原 章典
TOMOYAMA, Akinori

このプリゼミの目的は、国際経済学のトピックスを
使って、経済学ではどのようなアプローチをとるかを、
実際に手を動かしながら(計算問題を解きながら)学習
することです。正解は1つではありません。時にはほか
の人と解法を比べながら、その理解を深めています。

OGUSU'S Voice

意見交換を通して
新しい視点や考え方に気づく

友原先生は講義に公文式やイーラーニングを取り入れ
るなど、個性的なスタイルであることに惹かれて受講
しました。プリゼミでは、わからないことをみんなで一
緒に考えたり、意見交換をすることで、自分にはない視
点や考え方に気づき、とても刺激を受けました。



3年次

演習

課題解決力の育成
専門知識と思考力・表現力を結びつける

学科にこだわることなく個々の学習目標に合わせて自由にゼミ選択
が可能です。平均6名の少人数クラスにより、研究発表や討論中心
の授業が展開されます。
専門分野を深める過程で、幅広い視野の獲得、論理的思考力、表現
力を身につけ、課題解決能力を養うと同時に、将来の方向性を見い
だしていきます。また、卒業に向けて、研究テーマを深化させ、演習
論文にまとめます。

演習

企業活動や規制・競争政策に関するデータ分析

国際経済学科
准教授 鶴田 芳貴
TSURUTA, Yoshitaka

データ分析の技術と理論を学び
社会に対する問題意識を持つ
ことが目標

見かけの数字にだまされない、確かなデー
タ分析力を身につけることを、私のゼミでは最
も重視しています。当然の事実と思っていたことをデータ分析の見知から
再検証してみると、まったく異なる結果が浮かび上がったという事例は少
なくありません。まず学生自身がそのことに気がつくことが大切です。
ゼミでは、グループや個人で企業活動やそれに関係する政策を取り上げ、
データに基づいて分析し意見交換の機会を交えつつ、プログラミングな
どの技術や理論を学びます。4年次には、自ら設定した課題についてデー
タを収集・分析し、自分なりの考えに根ざした問題意識を卒業論文執筆時
にもてるようになることを目標としています。



ゼミテーマ例

※詳しくはP.17の教員紹介をご覧ください

国際政治部門	国際経済部門
<ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋の国際関係 国際社会における法の支配 グローバル化の政治経済学 	<ul style="list-style-type: none"> 日本経済および国際経済問題の 実証的研究 企業活動のグローバル化と 通商政策論
国際コミュニケーション部門	国際マネジメント部門
<ul style="list-style-type: none"> Intercultural Communication in Multicultural Societies ことばと社会の相互作用 	<ul style="list-style-type: none"> 企業経営と価値創造

学生が主体的に関わりデータ分析の力を磨く

大学で経済を勉強する中で、現実の社会と経済学の理論のギャップ
を感じるようになり、実社会のデータを分析するとどうなるのだろう
と思い、データ分析をおこなっている鶴田先生のゼミに入ることにし
ました。ゼミでは、データ分析の教科書を学生が順番に講義をするな
ど、一人ひとりの学生が主体的に関わっていきます。実際に授業をし
てみると、自分の理解していなかった部分が浮き彫りになり、知識を
より深く吸収できたと思います。卒業論文では、働き方改革にも関係
のあるコーポレートガバナンスをテーマにする予定です。IT化が進
む現代ではデータをどう扱うかが重要になります。ゼミで得たデー
タ分析の力を社会で活用していきたいと考えています。

Profile
国際経済学科 国際ビジネスコース 4年
小楠 有里 さん
OGUSU, Yuri

小さい頃からパソコンに親しみ、ITを活用して急速に
拡大する経済に興味をもつ。同時に、国際的な視点も
重要だと気づき、国際政治経済学部を進路に選ぶ。
卒業後はIT企業に勤務し、データ分析の
力を発揮していきたいと考える。



英語で考え 協働する力を身につける

本学部では、英語で論理的に考える力、英語を使って協働する力を身につけ、グローバルな課題を解決するための人材育成を目指しています。
全クラス20人以下で、授業の多くが英語で行われています。
また、入学時のTOEFL®学内試験の結果をふまえた能力別のきめの細やかな授業を行っています。

学びのSTEP

英語力を段階的に習得するカリキュラム(科目ハイライト)



学びの特徴

国際問題や時事問題などの実践的な題材を通じて、Listening、Speaking、Reading、Writingの4技能の向上を図ります。
また、論文作成やビジネスの場で通用する、アカデミックな英語力の育成を目指しています。



英語授業カリキュラム

学年が進むと、英語で論文を書くクラスや、通訳者・翻訳家による指導を受けるクラスを通して、アカデミックな能力と高度な実践的スキルを伸ばすことができます。
また、数ある専門科目を英語で学ぶ機会も多く設けられています。

1年次【必修】	2年次【必修】	3年次【選択科目(科目例)】	
<ul style="list-style-type: none"> ● Writing I・II ● Reading I・II ● Media Literacy ● Public Speaking ● Internet English ● Debate & Discussion 	<ul style="list-style-type: none"> ● Writing III・IV ● Reading III・IV ● Academic English ● English Seminar 	<ul style="list-style-type: none"> ● Academic Writing ● Academic Listening ● Academic Presentation Skills ● 通訳の理論と実践 I・II ● 翻訳の理論と実践 I・II ● 実践・通訳コミュニケーション I・II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語の音声 ● Business Communication I・II ● Media Communication ● Cyber Communication ● Negotiation Communication ● Conference Communication
● 専門科目(英語講義)			

第二外国語

広く国際的な視野を育てるために、英語以外の外国語として、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語からひとつを選択して学習します。
言語運用能力を養うだけでなく、異文化理解を深めるために、各言語の文化について学ぶ授業もあります。
どの言語も1年次には未修の学生がほとんどですが、中には、2年次または3年次から、その言語を使用する国へ交換留学できるほど上達する学生もいます。

実践的に学ぶ外国語教育

英語で学ぶ

80を超える英語講義・専門科目を英語で学ぶ

point 1

英語での理解力・発信力UP

英語で日常的に思考し、海外からの留学生と机を並べて英語で話し、また英語でレポートを作成するなど、専門分野の英語力を強化します。国際政治経済学分野の用語には、例えばaccountabilityのように欧米由来のものが多く、「説明責任」と訳して学ぶより、英語でそのまま理解するほうが効率的な場合があります。

point 2

留学準備に最適

専門科目を英語で学ぶことで、留学先で英語環境にスムーズに溶け込むための準備ができます。留学帰国生あるいは海外留学経験者は、海外で鍛えた英語の能力をさらに伸ばしていくことができるでしょう。また、海外留学・海外大学院進学相談室で留学に関する専門家のカウンセリングを受けられるなど、本学部ならではの特典もあります。

point 3

グローバル環境に対応した教員陣

教員のうち博士号取得者が42名、うち海外学位取得者が29名と、その数は私立大学学部の中でも群を抜いています。
さらにアメリカ、中国、韓国、ロシアなどの国籍をもつ教員もおり、各地域への留学の相談に乗っています。このように、本学部はこれからも、グローバル系学部の草分けとして進化を続けていきます。

英語で実施される科目例

- | | | |
|--|--|--|
| Culture and Society
Intercultural Communication
Global Studies I～VIII
Structure of Japanese
アメリカ政治論
グローバル・ガバナンス概論II
グローバル経営論 I・II
マクロ経済学 I・II
マスメディアと国際政治
ミクロ経済学 I・II | 異文化コミュニケーション特講I
国際コミュニケーション総論 I・II
国際マーケティング論 I・II
国際機構論 I・II
国際経済 A・B
国際経済政策入門
国際正義論
国際平和協力論 I・II
国連研究
戦略論II | 社会言語学特講
多国籍企業論 I・II
地域研究(アメリカ経済)
地域研究(EU経済)
日本政治論 I・II
日本文化論
米州圏概論
プリゼミ
演習 I A・I B / II A・II B |
|--|--|--|

Global Studies Program

グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)

英語で専門科目をたくさん学びたいという「選択希望者」のための限定プログラムです。本学部の卒業要件単位132単位の半数である66単位以上を、英語により行われる授業、協定校留学、短期海外研修などにより単位修得することが修了要件となります。

卒業要件単位132単位

- 青山スタンダード科目
- 外国語科目
- 学科科目
- 自由選択科目

卒業要件単位132単位の半数である66単位以上を、「英語講義科目」で修得

Global Studies Program

英語で学ぶ授業
(66単位以上)

日本語で学ぶ授業

VOICE グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP) 選択者インタビュー

GSPの一番の魅力は、世界水準の授業が受けられること

私は大学に入ったら留学したいという思いがあり、GSPには海外の大学に照準を合わせた授業がたくさんあると知ったので受講を決めました。例えば、海外の大学では1つの授業において、テストもレポートもプレゼンも課され、さらに毎授業数十ページに及ぶ文献を読み込むといったことは当たり前のことです。私はGSPを通してこのような授業形態に慣れていたので、3年次にアメリカに留学してから現地の授業についていくことができました。課題が多く大変なときもありますが、周りの学生も意識が高いので、切磋琢磨しながら日々新しい知見に出会えることがとても楽しいです。

また、国際政治経済学は、英語で学ぶことでより正確な理解が得られるユニバーサルな分野ですので、そういった面でもGSPはとても有意義な授業が揃っていると感じています。



国際経済学科
国際経済政策コース 4年
矢野 なつみ さん
YANO, Natsumi

海外で学ぶ豊富なプログラム

青山学院大学の 留学制度

休学することなく長期留学が可能な「協定校留学」(交換留学)と「認定校留学」(自分が希望する大学を留学先として申請する制度)があります。本学部から2019年度は46名、協定校・認定校への派遣交換留学の実績があります。また、夏期・春期を利用した海外語学・文化研修や海外インターンシップなど豊富なプログラムに加え、奨学金制度も用意しています。

■各国の協定校数

アジア		英語圏		中南米		ヨーロッパ	
韓国	11	フィリピン	1	オーストラリア	6	エクアドル	1
中国	8	インドネシア	1	ニュージーランド	1	メキシコ	2
台湾	3	ブルネイ	1	カナダ	4		
ベトナム	2	マレーシア	3	アメリカ	38		
タイ	6	インド	1	イギリス	5		
ミャンマー	1	モンゴル	1	アイルランド	2		
		カザフスタン	1				
						フランス	8
						ブルガリア	1
						ウクライナ	1
						ドイツ	7
						ロシア	2
						スペイン	3
						フィンランド	2
						ハンガリー	1
						イタリア	2
						ポーランド	2
						スウェーデン	1
						スロベニア	1
						オランダ	2

START!

エセックス大学 ダブルディグリー プログラム

4年後期から1年間、エセックス大学大学院(イギリス)へ留学することで、4年で青山学院大学の学士とエセックス大学の修士の学位を取得できるプログラムです。
【対象:国際政治学科/国際経済学科】



VOICE 留学体験者インタビュー

世界への第一歩

【留学先】 The University of Sheffield(イギリス)
【留学期間】 2018年9月～2019年6月

国際的に働く。これは私が高校生の時に漠然と掲げた目標です。大学では英語を使って学びたいという思いから、国際政治経済学部へ入学しました。

1年の夏には学部の海外研修でEU経済の現状について学び、特にEU離脱問題に関心を持ちました。加えて、世界中の学生が集まることからイギリスへの留学を決めました。留学先での授業では、学んだ知識を現実問題にどう生かせるか考え話し合う機会が多く、さらに語学のハードルもあり常にチャレンジングでした。また、学生寮では文化や価値観の違いから対立することも多くありました。

こうした困難に対して、本気で向き合い、世界中の仲間と協力し合えた経験はかけがえのない財産となっています。国際的に働く。この目標が具体的なビジョンに変わりました。

国際経済学科 国際経済政策コース 4年
小石 拓弥 さん KOISHI, Takuya



VOICE インターンシップ

在学中に企業や組織で実務を経験、実践で自分を鍛える

現場でしか得られない体験

【インターン先】 独立行政法人 国際交流基金
【インターン期間】 2019年8月～9月

自分の興味のある分野において現場での経験がほしいと思い、国際交流基金のアジアセンターでのインターンシップへ参加しました。実際のデスクワークの業務に加え、様々な文化イベントの企画に携わり、そして実際に参加することができました。プロジェクトの概要や目標などについて話し合いの場を設けて、コミュニケーションをとる機会が何度もあり、まさに国際交流の現場を体験することができました。参加した文化イベントでは、自分が今まで体験したことのない国の文化や宗教・思想を肌で体感することができ、刺激的な体験となりました。

国際政治学科 政治外交・安全保障コース 4年
菱山 亜蘭 さん HISHIYAMA, Alan



国際政治経済学部の 海外研修プログラム

海外での実践的な体験を通して、学びの動機づけや自信をつけてもらうこと、コミュニケーション能力やリーダーシップの獲得を目的に、本学部独自の短期海外研修プログラムを実施しています。これらのプログラムは単位として認められています。

EU研修

EUが国際政治経済の一極として重要な役割を担っている状況を知ることを目的としています。フランクフルトでは「E-mobility」をテーマに電気バス製造会社を視察。またドイツ南西部にある大学のセミナー、ワイン産業と農業の取り組み、地方政府の環境保全への先進的取り組み等を視察します。ルクセンブルグにある欧州司法裁判所も訪問し、EUの政治の仕組みと地理的近さを感じ取ります。

夏期
約3週間



国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーションコース 3年
中村 拓野 さん
NAKAMURA, Takuya

現地から見るヨーロッパ経済と文化

EU研修では大きく4つの軸を基に、セミナー、実習の2つによって体系的にヨーロッパの実状を学びます。私はオランダに住んでいた経験からヨーロッパに関心がありましたが、長期的な留学やホームステイにはまだ自信がなかったため、このEU研修に参加しました。研修中は基本的に英語を用い、現地人のパティさんたちや他国からのプログラム参加者とコミュニケーションを取ります。事前事後学習を含み、研修では計6つのレポートと2つのプレゼンテーションを行うため、ヨーロッパの経済や文化についてより理解を深めることができました。

海外ボランティア実習

国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部主催の海外ボランティアプログラム。活動地域はヨーロッパ、北中米、アジア、オセアニアの約30カ国にわたり、「環境保護」、「児童福祉」、「教師アシスタント」などのプログラムに参加します。国際コミュニケーション関連科目の学びと実践のボランティアを結びつけることで、知識や語学力の向上だけでなく、国際理解や異文化コミュニケーションのスキルを向上させることができます。

夏期
春期



国際経済学科
国際ビジネスコース 3年
朝倉 夕佳 さん
ASAKURA, Yuka

1人の"人"として参加し経験・学びを得る

ギリシャで、村の広場の修築をするプログラムに参加しました。参加メンバーのうち日本人は私だけで、メキシコ人のメンバー1人以外は、皆ヨーロッパの国からの参加でした。この環境のおかげで日本では経験できないヨーロッパ特有の文化や、国に関わらず共通する価値観を知ることができました。村の人と協力しながら仲間と作業する中で、出身や年齢、専門、語学力などに関係なく発言し積極的に参加することの大切さを学びました。また、ワーク以外の時間に隣の村のミュージックフェスティバルを見に行ったり、海に行ったりと、仲間とたくさん交流できたことは一生の思い出です。

インドネシア研修

経済成長の著しい新興国における政治、経済を学ぶ研修です。ランブン大学での研修プログラムに参加するほか、地場企業や、日本企業の現地法人を訪問し、国際的な立場にある人々へのインタビューや調査を通して、国際的、多角的な視野を養います。将来、国際社会で働きたい人におススメです。五感を使った経験は、大学での座学とは質の違う発見を皆さんにもたすでしょう。

春期
約10日間



国際経済学科
国際ビジネスコース 3年
リ ショウ さん
LI Zheng

急成長する新興国の現状に触れるチャンス

今後、世界経済は新興国を中心に発展し、海外のマーケットも急速に拡大していくと考えられます。私は、将来この世界とつながりをもつために、インドネシア研修に参加しました。この研修ではランブン大学のコースに参加し、インドネシア国営石炭会社PT Bukit Asamとグローバル会社ネスレの工場を見学しました。インドネシアの教育システムやさまざまな企業の経営状況を詳しく知ることができました。2週間は短い期間でしたが、忘れられない国際学習講座と交流会があって、さらに現地の学生たちと友人になり、素晴らしい時間を過ごしました。

グローバル・プロフェッショナル研修

グローバル・プロフェッショナル研修は、オーストラリア・メルボルンにて行われる短期集中プログラムです。プログラムには日本以外からの学生が参加しており、将来グローバルな企業や環境においてキャリアを築きたいと考える学生にとって非常に貴重な体験となります。

夏期
約3週間



国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーションコース 4年
鳥山 泉 さん
TORIYAMA, Izumi

グローバルに働く視点を身につける体験

私は将来海外で働きたいと考えていたため、この研修に参加しました。この研修を通して、グローバルな環境での働き方、異文化への理解、自己分析等幅広くキャリアに関わる内容を学ぶことができました。また、通常の留学では経験できないような現地の企業や日本企業の海外拠点の訪問機会があったため、実際に働く人の声を聞き、海外で働くビジョンをより明確なものにすることができました。漠然と持っていた海外で働きたいという思いに対して、自分に足りないものの気づきも多くあり、キャリアについてより考えるきっかけになりました。

進学動機や授業のようすを聞いてみよう

学生インタビュー

3年生 国際政治学科

統計学の知識を身につけ
国際社会で活躍する人を
目指します

ワン ヒョジョン さん
WANG Hyojeong
国際政治学科
グローバル・ガバナンスコース

日本でたくさんの刺激を受ける

私はソウルで生まれ育ちました。将来、国際機関や国際的なメディア企業などで働きたいという想いがあり、国際感覚を身につけようと、日本に来ることを決めました。価値観や文化的背景の違いをたくさん接することで、日々、刺激を受けています。

国際関係の基礎知識を学ぶ

現在、世界で起きていることは、過去の出来事に関連していることがたくさんあります。「グローバル・ガバナンス概論Ⅰ・Ⅱ」では、国際関係の理論、概念、歴史などを幅広く学び、国際関係を読み解くための大切な知識を手に入れました。

将来のために統計学のゼミへ

私が希望する職種に就くには、統計学の知識が必要でした。そこで、国際経済学科の統計学のゼミに所属することに決めました。自分が必要だと思えば他学科のゼミにも所属できる柔軟性があるので、将来を見据えて必要な知識を得ることができます。大学ではたくさんの人たちとコミュニケーションを取り、自分を成長させていきたいと思っています。



時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1		キリスト教概論Ⅱ	ロシア語圏の社会と文化B			
2					フランス文化論	
3		国際安全保障論Ⅰ	ドイツ文化論	欧州国際政治論	アジア太平洋政治論Ⅰ	
4		国際制度論Ⅰ	イスラム文化論	演習ⅠA	イスラム圏の社会と文化A	
5		Integrated Oral English	ロシア・中央アジア政治論	演習ⅠA		

2年生 国際経済学科

経済学と英語を
学び
夢を実現していきます

上村 慎士 さん
KAMIMURA, Makishi
国際経済学科
国際ビジネスコース
コーヒー愛好会

経済と英語をしっかりと学びたい

経済学は社会に出たときにすぐに役立つ実用的な学問だと思います。しかし、高校ではただ言葉を覚えるだけになっていたので、大学でもっと専門的に学びたいと考えていました。また、将来、外資系の会社で働きたいと思い、英語も重視しているこの学科を選びました。

授業の中でいろいろな意見に触れる

大学では、自分が興味のあることを掘り下げてプレゼンする機会がたくさんあります。中でも特に印象に残っているのが、羽場久美子先生の「ヨーロッパ概論」です。この授業の一環で、今後の世界の覇権について意見を発表し合う国連模擬形式のものがありました。自分が発表するだけでなく、たくさんの人の意見を聞くことができ楽しかったです。

留学実現に向けて英作文の特訓を

私には留学したいという目標があります。その目標を実現させるために、ライティング担当の先生に英作文の添削を個人的にお願いし、快く引き受けて頂きました。1年間続けた結果、英作文に対する苦手意識がなくなりました。留学先が決まったら、先生にお礼を言いたいです。



時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1		Reading III	簿記論ⅠA	Academic English		
2	マクロ経済学Ⅰ	韓国語ⅡB-1	Writing III	国際会計Ⅰ		
3	国際政治経済学Ⅰ	環太平洋圏概論		プリゼミ	韓国語ⅡA-1	
4		ミクロ経済学Ⅰ			ビジネス・マネジメントⅠ	
5	哲学A			生活と先端テクノロジー	ゲーム理論Ⅰ	

3年生 国際コミュニケーション学科

AIとの
コミュニケーション方法を考え
子どもたちに伝えていきたいです

富樫 野乃子 さん
TOGASHI, Nonoko
国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーションコース
United Rhythm Carriers

理解度が高い少人数授業

大人数の授業では、先生との距離を感じてしまい、授業に集中できないことがあるのですが、募集人数の少ないこの学科は、少人数の授業が多く、助かりました。一方的な講義ではなく、学生の意見を聞きながら進むので、理解しやすく、私には合っていました。

日本にいても留学しているよう

学科の仲間は帰国子女や留学生が多く、日本にいながら留学しているような気分になります。海外で生活した経験のある友人は、自分の意見をしっかりと持っていて、思ったり、感じたりしていることをはっきりと伝えてくれます。大学の友達から、自分の意見を持ち、それを伝えることの大切さを学びました。

将来は富山で活躍したい

今、AI技術がどんどん使われるようになっていきます。私はゼミなどを通して、人とAIとの関わり方を学んでいきたいと考えています。大学を卒業したら生まれ育った富山に帰り、子どもたちにAIとの共存のしかたを教えられるようになりたいです。



時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1	コミュニケーションの質的分析Ⅰ	キリスト教概論Ⅱ			コンピュータによる調査データの解析	
2					ヨーロッパ文化論Ⅰ	
3	中国文化論	アンケート・社会調査の方法	ドイツ文化論			
4	文学A	演習ⅠA	数理学の視点	広告コミュニケーション論	翻訳の理論と実践Ⅰ	
5	現代社会と教育人間学A	演習ⅠA	日常生活の数理	英語圏の社会と文化A	美術A	

学生一人ひとりの想いを実現する

キャリアデザイン

本学部には毎年、グローバルな課題を解決したいという強い想いを抱く学生が入学してきます。

その想いを形にする論理的な思考力、異文化コミュニケーションスキル、グローバル課題解決に向けて実行する力を養うカリキュラムやプログラムを用意しています。

実践的なキャリア教育

1年次	2年次	3年次	4年次
演習科目 入門セミナー・プリゼミ ▶ P.05		演習科目 ゼミ ▶ P.06	
	留学、インターンシップ ▶ P.09		
		ボランティア活動、海外研修など ▶ P.10	

特殊講義 グローバルな諸問題とその解決策を検討するために開設されている講義
現役外交官や国際交流基金職員などが担当

現場の第一線で活躍する講師による本学部の特別講義

日本の外交 外務省 日本外交の第一線で活躍している外務省幹部(課長クラス)約4名による講義です。取り上げられるテーマは多岐にわたり、日本の外交の生きた姿を現状と課題とともに理解することを目標としています。	日本の防衛 防衛省 この講義は、防衛省の協力によって10年ほど前から始まりました。防衛政策の現場を知る防衛省の高官4名から直接講義を受け、日本の防衛政策の一般知識を修得することを目標としています。	国際交流実務論 独立行政法人 国際交流基金 (The Japan Foundation) 独立行政法人国際交流基金の協力により派遣された実務経験を積んだエキスパートが行う、特に文化芸術交流、海外における日本語教育、日本研究・知的交流の3つの分野についての、現場の視点に立ったオムニバス形式の講義です。	特講(証券の基礎と資産選択入門) SMBC日興証券グループ 講師は3度の海外駐在、海外出張は実に40カ国にもおよび、世界情勢に精通しており、リアルな臨場感のある講義です。知識の修得だけでなく、時勢・時代の変化に対応できる柔軟な思考力・判断力が身につく講義が展開されています。
---	---	---	--

学部公認学生団体

外交・国際公務指導室 真の「国際人」としてのスキルを身につける 本指導室では、外交官や国際公務員など国際社会での活躍を目標とする学生が所属し、自分の興味・関心に沿った研究をしています。高度にグローバル化した昨今の社会を正しく理解し、自分なりの意見を持つことは、真の意味での「国際人」になるためには必須のスキルといえるでしょう。同じ志を持った仲間が集まり、共に研究活動をすることはそのようなスキルを身につけるうえで重要です。大学という場で自らの専門性を高めるべく切磋琢磨し、仲間と一緒に活動しましょう。 代表：国際経済学科 国際ビジネスコース 3年 渡 千華	ジャーナリズム指導室 国際社会の「ジャーナリスト」を目指す マスコミ就職だけでなく、今後の人生に必要な知識、発信力、絆を得ることを目標に活動しています。時事問題についての討論、元新聞記者の指導下で行う作文添削、高め合える生涯の友人。普段の活動で、これら全てが手に入ります。さらに、年2回の合宿や課外活動では、大学生だからこそ得られる貴重な経験を積めます。SNSが発達した現代では、あらゆる人が情報を発信する側です。共に学び、現代の国際社会で際立つ「ジャーナリスト」になりましょう。 代表：国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース 2年 黒柳 道弘	SANDS (SIPEC & SDGs) 大学・地域を巻き込み、SDGsインフルエンサーになる 私たちは、国内外で関心の高まる「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を目指し、大学生ならではのアイデアとアクションを大切に活動しています。これまで国連職員を招いた講演会やキャンペーン、企業との共催イベント、市民講座での出張ワークショップなどを行ってきました。参加者も企画者も「楽しい、面白い」と思える活動を通して、日常の何気ない行動を見直し、少しずつ変えていくことが、SDGs達成への一番の近道です。ただ考えるだけでなく、試行錯誤を繰り返し、周りも巻き込んで活動したい方、ぜひ一緒にアクションを起こしましょう。 代表：国際経済学科 国際経済政策コース 3年 東 美咲
--	---	--

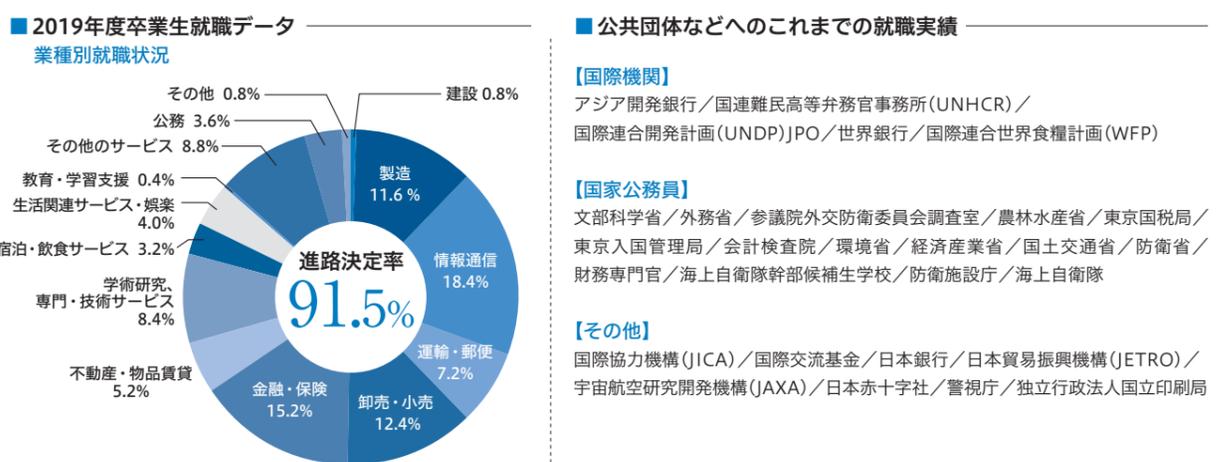
大学院連携
国連や国際機関、国際NGOといった方面での就職を目指す学生には、大学院国際政治経済学研究所への進学という道が開かれています。多くの国際機関では、修士号取得が採用試験応募の要件となっており、グローバルな諸問題を解決するための政策提案力や交渉力などを身につけるには、大学院での研究が不可欠です。大学4年次に大学院科目を先取りして、大学院を1年で修了する制度も設けられています。これらの制度を有効に活用して、グローバルなキャリアの土台をつくってください。

社会調査士
社会調査士は、一般社団法人社会調査協会が認定する資格です。国際コミュニケーション学科において、社会調査協会認定の該当科目を履修すると、卒業時に社会調査士資格が取得できます。調査企画の立て方から、アンケートやインタビュー、統計処理などの調査技法を学び、報告書作成まで、実践的なトレーニングを行います。社会現象を科学的・客観的に捉える視点を養い、調査の専門家としての知識・技術を身につけることができます。

就職／大学院進学

高い進路決定率を誇る国際政治経済学部

進路・就職センターと学部の教員が協力し、企業サイドの視点を理解するためのセミナーや、実践的な模擬面接などを数多く開催するなど、学生一人ひとりが自分の適性と将来の目標を十分考慮した上で就職活動に臨むことができるサポート体制を整えています。こうした取り組みが、優良企業や国際機関への就職と、学生本人が満足できる結果となってあらわれているのです。



■ 就職者上位企業・団体

全日本空輸株式会社	16 日本生命保険相互会社	6 株式会社JALUX	4 デジタルアパテイジング・コンソーシアム株式会社	3
楽天株式会社	15 三井住友海上火災保険株式会社	6 トランス・コスモス株式会社	4 日本銀行	3
国家公務員・東京都	9 株式会社エイチ・アイ・エス	5 日本通運株式会社	4 日本郵便株式会社	3
日本航空株式会社	9 住友商事株式会社	5 野村證券株式会社	4 株式会社ネオキャリア	3
株式会社みずほフィナンシャルグループ	9 PwCコンサルティング合同会社	5 パーソルキャリア株式会社	4 パナソニック株式会社	3
三井住友信託銀行株式会社	9 株式会社三井住友銀行	5 本田技研工業株式会社(ホンダ)	4 株式会社ペイカレント・コンサルティング	3
SMBC日興証券株式会社	8 株式会社三菱UFJ銀行	5 三菱UFJニコス株式会社	4 丸紅株式会社	3
アビームコンサルティング株式会社	7 株式会社りそなホールディングス	5 三菱UFJモルガンスタンレー証券株式会社	4 三菱商事マシナリ株式会社	3
JTBグループ	7 伊藤忠商事株式会社	4 ANAエアポートサービス株式会社	3 三菱UFJ信託銀行株式会社	3
東京海上日動火災保険株式会社	7 SCSK株式会社	4 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	3 リクルートグループ	3
アクセンチュア株式会社	6 株式会社ジェーシービー	4 株式会社JALスカイ	3	(A)

■ グローバルキャリアガイド

製薬会社・購買 アリストル・マイヤーズスクイブ株式会社 Strategic Sourcing & Procurement Regional Lead for APAC, 統括部長 阿部 俊介さん ABE, Shunsuke	プロジェクトマネージャー 日本IBM 梅村 映輔さん UMEMURA, Eisuke	映像翻訳者 日本映像翻訳アカデミー 新築 直樹さん NIIRA, Naoki
公益財団法人研究員 笹川平和財団 植田 晃博さん UEDA, Akihiro	ゲーム会社商品企画 ソニー・インタラクティブエンタテインメント 米山 溪さん YONEYAMA, Kei	経営コンサルタント アクセンチュア株式会社 河野 真一郎さん KOHNO, Shinichiro
アパレルメーカー海外営業職 株式会社イッセイミヤケ 細谷 梨沙さん HOSOYA, Risa	総合商社営業職 伊藤忠商事株式会社 中村 優作さん NAKAMURA, Yusaku	大学教員 オーストラリア国立大学 那須 仁さん NASU, Hitoshi

多くの卒業生がグローバルな舞台上で活躍しています。国際政治経済学部Webサイトでご紹介いたします。

www.sipec.aoyama.ac.jp/global-career/



国際社会で躍動する卒業生

大学で培った基礎を大切にし 日本とロシアの架け橋に

ロシア・CISでのビジネスをサポート

私が勤務している会社は世界最大規模のプロフェッショナルファームであるデロイト・トーマツのロシア法人です。プロフェッショナルファームとは、会計検査、税務、法務、コンサルティングなど、各分野に精通した実務家をそろえ、ビジネスのサポートをする会社のことで、私たちの会社はロシアをはじめとする旧独立国家共同体(CIS)諸国を担当しています。

その中でも、私はジャパンサービスグループのリーダーとして、CISに拠点を置く日系企業やCISへの進出を目指す日系企業の窓口をしています。CISは経済情勢の変化の激しい地域で、法律の改正などが頻繁にあり、原油価格などの変動によって環境がダイナミックに変化します。

CIS経済圏でビジネスを成功させるには、それらの変化を敏感に察知し、適切な対応をしなければなりません。私たちは、CIS諸国のビジネスシーンの動向、法律の改正などに常に目を光らせ、ニュースレター、セミナーなどの形で、お客様に役立つ情報をお伝えしています。そして、お客様から寄せられた悩みや問題を解決するために、最適な専門家を集めてプロジェクトチームを組み、お客様の成功をサポートしています。

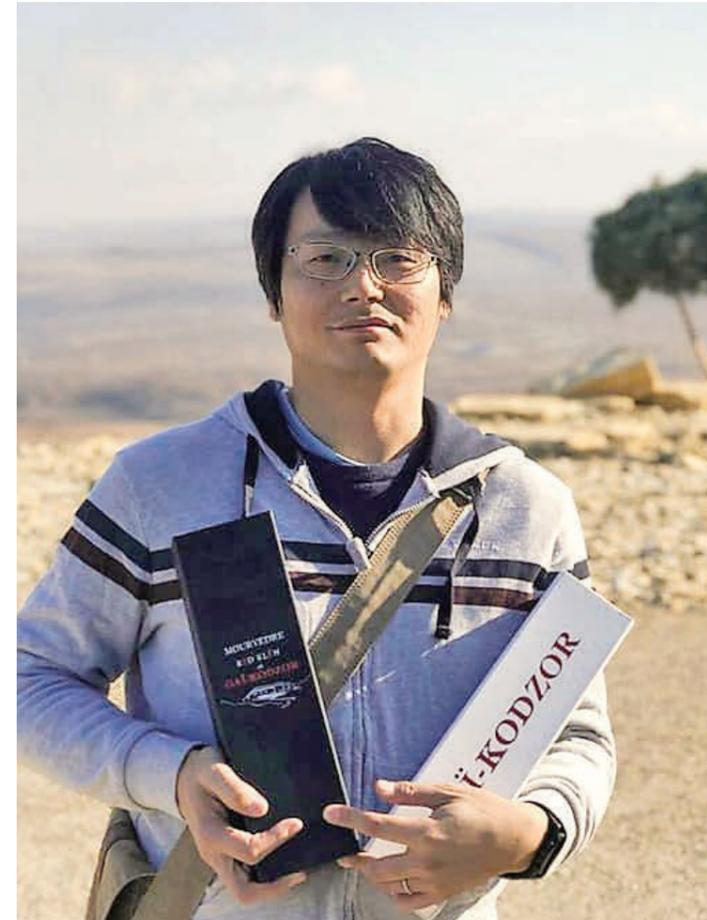
学生時代から抱いていたロシアへの想い

現在、私はロシアのモスクワで生活していますが、ロシアに興味を持ったのは高校生の頃です。当時、ソビエト連邦崩壊という世界的な大事件が発生し、誕生したばかりのロシアは今後大きく発展するのではないかと感じました。将来、ロシアのビジネスシーンで活躍したいという想いを持ち、国際政治経済学部を選んだのです。

在学中はサークルの活動に加わり、ロシアで国際交流プログラムを実施したり、留学を実現したりすることができました。3・4年次には袴田茂樹先生のロシア社会論ゼミに参加。ゼミでは、政治や社会論などの現象的な話に加え、古典や芸術の話題も頻繁に取り上げられ、ロシアの人々を根底から理解するための基盤を築くことができたと感じています。

大学生生活を通して、ロシアは私にとってとても重要な地域になりましたが、そこだけに注目してしまうと視野の狭い人間になってしまいます。より広い視点から、国際的に活躍する人間になるために、卒業後は医療機器の分野に入り、国内営業や事業企画を通してビジネスの基礎を固めていきました。

ただし、ロシアを大切にしていきたいという軸をぶらさずにビジネススキルを磨いてきました。今後も、日本とロシアの架け橋として、両国の友好・ビジネスの発展に貢献できるように仕事をしていきたいと思っています。



ロシアのワイナリーを訪れた時

Profile

2000年国際政治学科卒業、同年オリンパス入社。2006年からオリンパスモスクワ駐在員事務所長、2009年からイギリスでMBAなどを経て、2014年から現職。ロシア経済圏に進出した日系企業やこれから進出を考えている日系企業のサポートをしている。

AO Deloitte & Touch CIS
ジャパンサービスグループ
ディレクター

高橋 渉さん

[2000年卒業]

自社製品を世界に展開

私は「MAPUTI(マプティ)」という自社ブランドの美容製品の製造、販売などをおこなう会社を運営しています。2015年にたった1人で始めた会社は、4人で売上7億円を作る会社にまで成長しました。

大学を卒業したときは、自分で会社を興すとは思っていませんでしたが、社会人2年目のときに、親しい人が重い病気にかかったことがきっかけで、自分の人生を見直しました。大切な人を大切にするためには、時間とお金のバランスが重要だと考えるようになり、現在の会社を立ち上げたのです。

立ち上げ当初は卸売業が中心だったのですが、3期目から自社製品の販売に注力しています。当時は中国人の爆買いが話題になっていたときで、まずは中国の市場に狙いを定めて売り込みました。

中国の人たちは世界中にネットワークを持っています。中国で売れるものは、口コミなどで世界に広がっていききました。その流れで、逆輸入のような形で日本の市場にも参入することができたのです。日本市場の営業活動は社員に任せていて、私自身は、商品開発と海外の事業展開を担当しています。

学生生活で学んだ人を想う気持ち

2歳から中学校卒業まで海外で過ごした私は、外から見た日本の文化に非常に感銘と共感を覚えました。将来、世界的に活躍して、日本文化を海外に発信できる人間になりたいと思うようになり、国際コミュニケーション学科に入ったのです。

学科の同級生が60人と少人数だったこともあり、大学生活を通して、同級生と濃密な時間を過ごせました。家族のように仲良くなった同級生とは性格や素行について苦言を言い合えるほどで、卒業して10年経っても連絡を取りあう、かけがえのない友人になっています。

また、ゼミでお世話になった末田清子先生のごことは心から尊敬していて、一生連絡を取らせて頂きたいという思いがあります。先生は学生である私たちに、愛情を持って接して下さい、迷っているときには適切な道を示してくれました。社会に出る前に、「他者を想う。親身になる。」という、人として大切にしなければならないことを学ばせていただきました。

私は、自分の両手で抱えられるだけの人に、大切な人を大切にできる環境づくりをしたいと思いこの会社を運営してきました。この5年でその想いは少しずつ実現できていると感じています。

最近、自分の両手のサイズに限界を感じており、より多くの人に同環境を提供するために、新たな道を模索しています。数年後にはまったく新しい道歩んでいるかもしれません。大学で学んだ人を想う気持ちを胸に人生を歩んでいきたいと思っています。



学生時代の濃密な人間関係から育まれた たくさんの人を幸せにしたいという気持ち

株式会社 lojus
代表取締役

田中 麻里奈さん

[2011年卒業]

Profile

2011年国際コミュニケーション学科卒業、同年サイバードに入社。美容商品の専門マーチャンダイザーとして、小売りから問屋業までの業務をこなす。2014年にIT企業の物販事業の立ち上げを担当した後、2015年にlojusを起業し、代表取締役就任。現在、自社ブランドの美容製品を13か国で販売している。



上海ブランド展示会プレゼン

上海ブランド展示会

オリジナルブランドリング撮影



スイス大使館でのレセプション

ワールドカップ

デロイトのロゴの前

東京でのセミナー

教員紹介

■ 宗教主任

左近 豊 〔旧約聖書学〕
米国コロンビア神学大学院修了(Th.M.)。プリンストン神学大学院Ph.D.取得。**❶**旧約聖書における都市崩壊後の哀歌、および嘆きの詩編の文芸学的研究。

■ 国際政治学科

阿部 達也 〔国際法学〕
京都大学法学部卒。同大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学)。**❶**法規範の明確性と実効性を視座とする国際法理論の再構築。**❷**国際社会における法の支配

林 載桓 〔比較政治学、中国政治〕
ソウル大学社会科学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科修了、法学博士。**❶**現代中国の政治と外交。**❷**転換期中国の政治と外交

押村 高 〔政治思想史〕
早稲田大学政治経済学部卒。同大学院博士課程修了。政治学博士。パリ第二大学大学院に留学、DEA取得。**❶**グローバル化とアイデンティティの現在

菊池 努 〔国際政治経済論〕
一橋大学大学院博士課程修了、法学博士。オーストラリア国立大学大学院に留学。**❶**アジア・太平洋国際関係専攻。**❷**アジア太平洋の国際関係、日本とアジア太平洋の国際関係

倉松 中 〔外交史、国際関係史〕
国際基督教大学卒。早稲田大学大学院、英国キール大学大学院修了。ロンドン大学LSE大学院に留学。**❶**戦間期の日英米海軍軍縮交渉、日英同盟、国際連盟における国際武器取引取締の試み等。**❷**国際関係史-「一国外交」を越えて

古城 佳子 〔国際関係論、国際政治経済論、国際制政論〕
東京大学教養学部教養学科卒、同大学院修士課程修了、プリンストン大学大学院にてPh.D.(政治学)取得。**❶**国際政治と国際制度、経済外交、対外経済政策の形成。**❷**経済的相互依存と国際政治

佐桑 健太郎 〔国際関係論、紛争研究〕
京都大学文学部卒。アリゾナ州立大学大学院、インディアナ大学大学院に留学、政治学Ph.D。**❶**紛争と安全保障の実証研究、計量政治分析。**❷**Quantitative Analysis International Relations

武田 興欣 〔政治学、アメリカ研究〕
東京大学法学部卒。プリンストン大学大学院に留学、Ph.D.(政治学)取得。**❶**アメリカ連邦議会、アジア系アメリカ人について研究。**❷**現代アメリカ合衆国の政治と社会

田中(坂部)有佳子 〔比較政治学、国際関係論〕
青山学院大学国際政治経済学部卒。コーネル大学大学院修了(MPA)。政府・国際機関等での勤務後、早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了、博士(政治学)。**❶**民主化、国家建設と暴力、平和構築、国際協力。

羽場 久美子 〔国際政治学、憲法、地域論、ナショナリズム論〕
津田塾大学大学院国際関係学研究所博士課程修了、学術博士(国際関係学)。ハーバード大学、ロンドン大学、パリ大学客員研究員。**❶**ヨーロッパ国際政治、アジアと欧州の地域統合、アメリカの役割、地域紛争、民主化の功罪。**❷**アジアにシクタンクネットワークを形成する。グローバル・ガバナンス。移民・難民問題

藤重 博美 〔国際平和活動、平和構築〕
同志社大学法学部卒業、ロンドン大学LSE修士課程修了、ロンドン大学SOAS博士課程修了。Ph.D.(政治学)。

❶紛争や国内の不安定さに苦しむ国々の再生や安定、そうした国々に対する国際的な支援策。**❷**グローバル・ガバナンス(平和構築、脆弱国家支援、戦争と平和、ジェンダーなど)

J. Patrick Boyd 〔比較政治学、国際関係論、日本政治〕
コロンビア大学東アジア研究学部卒。マサチューセッツ工科大学大学院修士(M.S.)、博士(Ph.D.) (政治学)取得。**❶**戦後日本の政治と外交。**❷**Political Development in Japan and Asia

和田 洋典 〔政治経済学〕
慶応義塾大学経済学部卒。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)修士。一橋大学大学院博士課程修了、法学博士。**❶**国際経済制度、中国・新興国の台頭。**❷**グローバル化の政治経済学

渡邊 理絵 〔気候エネルギー政治、政策過程論〕
東京大学法学部卒。ベルリン自由大学Otto-Suhr Institut修了(政治学博士)**❶**(実証)気候エネルギー政治の独自比較。**❷**(理論)パラダイム転換が起こるメカニズムの仮説モデルの構築とその検証

■ 国際経済学科

飯坂 ひとみ 〔国際経済学〕
カリフォルニア州立大学サンタクルーズ校経済学部卒。同大学院、応用経済学部、M.S.取得。同大学院、国際経済学部、M.A.、Ph.D.取得。**❶**Multinational enterprises and the global economy**❷**Current topics in international economics

内田 達也 〔応用ミクロ経済学〕
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士課程修了、博士(国際経済学)。**❶**社会課題に対する経済学的な解決法とデザイン的な解決法の統合**❷**社会・組織・私の問題の経済分析

内山 義英 〔国際経済学、計量経済学〕
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士課程修了、博士(国際経済学)。**❶**日本の貿易構造の特性についての研究。**❷**日本経済および国際経済問題の実証的研究

大野 昭彦 〔開発経済学〕
一橋大学大学院博士課程(経済学博士)。**❶**タイ、ラオス、インド等の工場労働者の意識調査、中小企業調査や農村調査、さらには取引と契約についての研究を行う。**❷**経済開発論

岡部 智人 〔公共経済学、政治経済学〕
慶應義塾大学理工学部卒。オーストラリア国立大学大学院修了(Ph.D.)。一橋大学経済研究所を経て現職。**❶**政治・経済についての実証分析。**❷**データサイエンスの手法を用いて諸問題を分析する

小橋 文子 〔国際貿易、貿易政策〕
慶應義塾大学総合政策学部卒。同大学院経済学研究科博士課程修了、博士(経済学)。ウィスコンシン大学大学院に留学。Ph.D.取得。**❶**国際的生産ネットワークをめぐる諸問題についての理論・実証研究。**❷**企業活動のグローバル化と通商政策論

加治佐 敬 〔開発経済学、農業経済学〕
青山学院大学国際政治経済学部卒。ミシガン州立大学大学院Ph.D.。世界銀行、国際開発高等教育機構、政策研究大学院大学、国際稲研究所を経て現職。**❶**近代化と村落共同体の変容。**❷**経済発展の実証研究

沈 承揆 〔労働経済学〕
ソウル大学経済学部卒、ウィスコンシン大学大学院に留学、Ph.D.取得。東京大学経済学部講師。**❶**失業、賃金構造、人的資本形成など、労働市場の分析**❷**International Policy Competition-Economy-Policy

[] …専門分野
❶…研究テーマ
❷…ゼミテーマ
兼任…国際マネジメント研究科からの兼任教員
2020年7月現在(2021年度については変更の可能性があります)。

■ 環境経済学

瀬尾 佳美 〔環境経済学〕
大阪大学理学部卒。クラーク大学大学院環境科学・政策学科修士課程修了(MA)。筑波大学大学院博士課程修了、博士(都市・地域計画)。**❶**環境リスクの研究。**❷**環境経済学環境リスク研究

竹田 憲史 〔金融〕
早稲田大学政治経済学部卒。ウィスコンシン大学大学院Ph.D.取得。日本銀行金融研究所を経て現職。**❶**国際金融、中小企業金融についての理論・実証研究。**❷**日本と国際経済

鶴田 芳貴 〔産業組織論〕
青山学院大学国際政治経済学部卒。筑波大学大学院博士課程修了、博士(社会経済)。**❶**競争政策に関連する実証分析。**❷**企業活動や規制・競争政策に関するデータ分析

友原 章典 〔国際経済学〕
早稲田大学政治経済学部卒。ジョンズホプキンス大学大学院Ph.D.取得。世界銀行や米州開発銀行にてコンサルタントを経験。**❶**移民、貿易、海外直接投資**❷**幸福の経済学

中川 浩宣 〔国際金融、国際マクロ経済学〕
慶応義塾大学経済学部卒。ニューヨーク大学大学院M.B.A.、コロンビア大学大学院Ph.D.取得。

❶国際マクロ・金融(international macroeconomics and finance)分野における理論・実証研究。**❷**国際経済問題―理論的考察と実証的分析

野村 親義 〔経済史〕
東京大学農学部卒、東京大学大学院農学・生命科学研究所博士課程修了(博士(農学))。**❶**帝国支配とインドの経済発展。**❷**グローバル経済史

■ 国際コミュニケーション学科

井川 肇 〔理論言語学(生成文法)〕
国際基督教大学卒。カリフォルニア大学アーバイン校大学院留学、Ph.D.取得。**❶**生成文法の枠組みの下での日英語の比較研究を行っている。**❷**ことばの仕組み

Richard Evanoff 〔比較文化〕
シカゴ大学大学院修了。英国ランカスター大学よりPh.D.取得。**❶**環境哲学、異文化倫理学、異文化ダイアログを研究。**❷**International Ethics

大久保 典子 〔スペイン文学〕
マドリッド南カリフォルニア大学卒。ニューヨーク大学よりM.A.取得。スペイン国立アルカラ大学よりPh.D.取得。**❶**20世紀初頭スペイン演劇・ヨーロッパ演劇と思想の関連性、La Movida、スペイン現代演劇・小説。

抱井 尚子 〔多文化心理学、混合研究法〕
青山学院大学国際政治経済学部卒。ハワイ大学大学院よりPh.D.取得。**❶**文化と心理。コミュニケーション研究法。**❷**国際的生産ネットワークをめぐる諸問題についての理論・実証研究。**❸**多文化社会の諸相

勝又 恵理子 〔異文化コミュニケーション、多文化教育〕
ヒューストン大学クリアレイク校卒。同大学院修了(MA)。クレアモント大学院大学およびサンディエゴ州立大学大学院よりPh.D. 取得。**❶**グローバル教育、異文化コミュニケーション能力養成のための教育法**❷**Intercultural Communication in Multicultural Societies

狩野 良規 〔イギリス文学、演劇学、映像論〕
東京外国語大学卒。同大学院修了。**❶**シェイクスピアの歴史劇、イギリスおよびヨーロッパの映画。**❷**現代教養

■ フランス文学

國分 俊宏 〔フランス文学〕
早稲田大学第一文学部卒。同大学大学院修了。パリ第3大学博士課程に留学し、文学博士号取得。**❶**表象文化論

猿橋 順子 〔社会言語学〕
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士後期課程修了、博士(国際コミュニケーション)。**❶**社会言語学、言語政策論。**❷**ことばと社会の相互作用

末田 清子 〔異文化コミュニケーション、対人コミュニケーション〕
立教大学社会学部卒。カンザス大学大学院およびカリフォルニア州立大学フラトン校大学院修了(MA)。英国ランカスター大学よりPh.D.取得。**❶**研究テーマはアイデンティティ、フェイス(面子)とコミュニケーション。**❷**異文化コミュニケーション

田崎 勝也 〔文化人類学、異文化コミュニケーション心理学〕
ハワイ大学大学院修了、Ph.D.取得。**❶**「こころと文化」をテーマに、比較文化の観点から量的研究を行っている。**❷**比較調査から観る異文化問題

陳 継東 〔中国思想文化と仏教学〕
北京大学卒。東京大学博士(文学)。**❶**近代中国の思想・宗教、および日中交流史。**❷**中国の社会と文化

西村 康平 〔理論言語学、音韻論〕
国際基督教大学卒。東京大学総合文化研究科より博士号取得。**❶**言語の発音に関するバリエーション、語彙クラス、普遍性。

橋本 秀美 〔中国文献学、学術史〕
東京大学文学部卒。北京大学中文系博士。**❶**中国文献学、学術史。**❷**中国語と中国思想・文化

Petr Podalko 〔ロシア語教育、歴史学(言語文化学)〕
ノボシビルスク大学卒。同大学院歴史学専攻博士課程。大阪大学大学院博士課程修了。言語文化学博士。**❶**ユーラシア研究・移民問題・映画史等。**❷**東西を一致にしたユーラシア大陸の歴史と文化論、その過去と現在

渡邊 千秋 〔スペイン現代史〕
上智大学大学院修了。スペイン国立放送大学大学院より博士号取得(史学)。**❶**20世紀スペインにおける社会心性。**❷**現代スペイン社会を文化横断的に考える

■ 兼任

岩井 千明
慶応義塾大学法学部卒。青山学院大学大学院修士課程修了。**❷**企業経営と価値創造

榊原 正幸
名古屋大学大学院博士課程修了。**❷**会計情報と株価の関係について

中里 宗敬
東京工業大学工学部卒。同大学院修士課程修了。**❷**証券市場の分析

